

第6回 北本交流少年野球大会

1. 主旨 北本市を中心として組織されている近隣少年野球チーム(小学生)を一堂に会して交流を深め、少年の心身の育成及び技術の向上を目指し、さらに少年野球の普及発展につとめる。
2. 共催 北本市教育委員会・北本市スポーツ少年団
3. 主管 北本市スポーツ少年団野球部会
4. 期日 平成22年7月4日(日) 11日(日) 17日(土) 18日(日) 予備日19日(月・祝)
5. 会場 北本スポーツセンター、総合公園野球場、深井スポーツ広場、中丸スポーツ広場
6. 参加チーム 桶川市(6)、伊奈町(4)、上尾市(5)、戸田市(2)、北本市(9) 合計26チーム
7. 参加費 8,000円
8. 登録 指導者4名(監督、コーチ、スコアラー)、選手20名 合計24名
9. 表彰

団体	優勝	: 表彰状、優勝旗、優勝杯、金メダル(20個)
	準優勝	: 表彰状、準優勝杯、銀メダル(20個)
	第三位	: 表彰状、第三位盾、銅メダル(20個)
個人	最優秀選手賞、最優秀投手賞、敢闘選手賞(2名)、以上表彰状付 優秀選手賞(各チーム1名)	
10. 大会役員

大会委員長	北本市教育長 小尾 富士雄	北本市スポーツ少年団本部長 秋山 節雄
副委員長	北本市少年野球連盟会長 現王園 孝昭	北本市スポーツ少年団野球部会長 三浦 康弘
事務局長	磯崎 英繁	
運営委員長	吉田 二郎	
審判長	岡本 渉	
協力審判員	桶川市スポーツ少年団野球部会審判部(審判長 端名和志)	
	伊奈町スポーツ少年団野球部会審判部(審判長 岩崎昌弘)	
11. 抽選会 平成22年6月20日(日) 会場:中丸公民館 午前9時30分受付・10時より。
※ 当日、受付に登録用紙及び参加費を提出してください。
12. 開会式 平成22年7月4日(日) 午前9時より、北本スポーツセンターにて行います。
① 各チームは、午前8時30分までに集合してください。
② 各チームは、プラカードを必ず持参してください。
13. 試合

第一日目	北本スポーツセンター(A・B面 各3試合 C面 2試合) 計8試合 第一試合 10:00 第二試合 12:00 第三試合 14:00
第二日目	総合・中丸 各3試合、深井4試合 計10試合 総合・中丸 第一試合 9:00 第二試合 11:00 第三試合 13:00 深井 第一試合 8:30 第二試合 10:20 第三試合 12:10 第四試合 14:00
第三日目	総合・深井 各2試合 計4試合 第一試合 9:00 第二試合 11:00
第四日目	総合2試合(準決勝、決勝)、深井2試合(準決勝、三位決定戦) 計4試合 第一試合 9:00 第二試合 12:00
14. 閉会式 総合公園野球場にて、表彰対象3チームが参加し午後2時30分から行います。
15. 雨天判定 雨天判定は午前7時00分(二日目は午前6時30分)とし、下記の担当者に問い合わせてください。

第6回 北本交流少年野球大会競技運営規則

北本市スポーツ少年団野球部会

〔大会規則〕

- 1 正式な試合回数は、7回とする。
- 2 一試合の試合時間は1時間30分とし、これを超えて新しいイニングに入ることはいできない。
- 3 時間内の延長戦は9回までとする。この場合、1人の投手の1日の投球回数制限は適用しない。
- 4 試合は、1時間30分を過ぎても同点の場合、最後に出場していた選手9名の抽選により勝敗を決定する。
- 5 暗黒、降雨その他球審によって打ち切りを命じられた場合(コールドゲーム)は、5回(4回1/2)終了で成立とする。同点の場合は抽選とし、それ以前については再試合とする。
- 6 得点差のコールドゲームは、5回(4回1/2)以降7点とする。
- 7 1人の投手の1日の投球回数は、21アウトとする。(21アウト目のダブルプレー、トリプルプレーは1アウトとする。)
- 8 決勝戦の特例
 - ① 得点差のコールドゲームは適用しない。
 - ② 7回を終了、又は1時間30分(延長戦を含む)を過ぎても同点の場合は、特別延長戦(サドンデス)により勝敗を決する。
 - ③ 特別延長戦(サドンデス)は、次の方法で行う。
 - (ア) 継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者、二塁、三塁の走者は順次前の打者とし、無死満塁の状態にして、1イニングを行い、得点の多いチームを勝者とする。なお、同点の場合は抽選とする。
 - (イ) 特別延長戦(サドンデス)は、代打、代走及び守備交代を認める。
 - (ウ) 特別延長戦(サドンデス)は、1人の投手の1日の投球回数制限は適用しない。
- 9 投手が手首にリストバンド(サポーターなど)を使用することを禁止する。
※ 打者、走者、守備時の手袋及びリストバンドの使用は認める。
- 10 捕手は、ヘルメット、マスク(スロートガード付)、プロテクター、レガース及びファールカップを着用すること。
※ 控え捕手も投手の投球を受ける時は、防具を着用すること。
- 11 ヘルメットは、公認(JSBB)の両耳付とし、打者、走者及びランナーコーチも着用すること。
- 12 使用球は公認軟式C号とし、主催者側で用意する。
- 13 金属バットは、公認(JSBB)されたものを使用すること。
- 14 スパイクシューズは金属製スパイクの使用を禁止する。
- 15 出場チームは、試合開始予定時刻1時間前までに、会場に到着すること。
- 16 会場到着時及び退出時には、大会本部に申し出ること。
- 17 開会式の入場行進は、各チーム登録した選手20名以内でおこなう。
- 18 ベンチは、組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。
- 19 ベンチ入場者は、登録した選手20名以内と、指導者(監督、コーチ、スコアラー)4名以内とする。
- 20 登録した選手、監督、コーチは統一されたユニフォーム(帽子、ストッキング、スパイクシューズを含む)を着用すること。又、指導者のサングラス使用は認めない。
※スコアラーは、帽子のみでもよいこととする。
- 21 各チームは、試合開始予定時刻30分前、又は、前試合の4回終了時に、大会本部にメンバー表(3部)を提出し、審判員立会いのもと攻守を決定しておくこと。
- 22 試合開始予定時刻前であっても、原則として、前の試合が終了して20分後に次の試合を開始する。
※ 決勝戦については、大会本部が定める。
- 23 試合開始予定時刻を過ぎても、会場に現れないチームは棄権したものとする。
- 24 会場内でのフリーバッティングは認めない。
- 25 シートノックは5分間とする。
- 26 試合中のファールボールは、落下地点側ベンチで処理する。
- 27 塁間は23mとし、投手板と本塁間は16mとする。
- 28 ピッチャーズプレート中心を基点として、本塁から両翼70mの位置を結んだライン上にホームランネットを設ける。ただし、グラウンドの状況に合わせたホームランネットを設ける場合がある。
- 29 塁審は、組み合わせ表のとおりとし、各チーム2名従事すること。(審判講習会受講者に限る)
- 30 選手、指導者及び応援席の父母等は、球場内外を問わずマナーに留意し、品位を損なうような行動をとらないこと。
- 31 各チームの指導者は、今大会開催につき決められた事項を、チーム全員に徹底すること。

〔審判上の注意事項〕

- 1 試合は、スピーディに進め、遅延行為とならないように充分注意すること。
- 2 攻守交代を迅速に行うために、投手以外の野手は走って守備位置を往復すること。
- 3 監督は守備中にタイムを取った場合、投手のところ(マウンド)へ行き指示することができる。
- 4 プレーの判定に対する抗議権は、当該プレーヤー又は、監督のいずれか1名とする。
- 5 一試合のタイム取得回数は、攻撃及び守備で各3回合計6回を限度とする。(攻撃の場合は、選手を呼んで指示した時とする。)
- 6 投手の投球練習は、先発時と交代時は7球とし、2回目以降は3球とする。
- 7 守備側からの要求で試合が停止された場合、投手は投球練習をしてはならない。
- 8 野球ルールの解釈決定は各審判員が行うが、事態が紛争したときは、速やかに4氏が集まり主審が最終決定する。
- 9 基本的なルールの解釈は、公認野球規則による。